

安全上のご注意 (必ずお守り下さい)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。安全に関する重大な内容です。ご使用前にお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

 禁止 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない 発熱、発火、破裂の原因となります。	 ぬらさない 発熱、発火、破裂の原因となります。 ぬれ手禁止 ・水がかかった場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。	 衝撃を与えない、分解・改造をしない 発熱、発火、破裂の原因となります。 分解禁止	 禁止 +端子と-端子を接触させない 発熱、発火、破裂の原因となります。
--	---	--	--

警告

 禁止 煙が出る、変なにおいがするなどの異常時は使用しない そのまま使用すると、発火、事故の原因となります。 ・電源プラグをコンセントから抜いて販売元へ修理をご依頼ください。	 開口部から金属類や異物を入れない 火災、感電の原因となります。 禁止 ・内部に金属類や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売元へ修理をご依頼ください。	 電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。 ・傷んだプラグ、ゆるんだソケットは使用しないでください。	 ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因となります。 ぬれ手禁止
 蓄電池の液もれや異臭がしたら使用をやめる 蓄電池は内部に希硫酸を保持しています。漏れし皮膚や衣服に付着した時は直ちに多量の水で流してください。目に入った場合は、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。希硫酸が目に入ると失明、皮膚につくと火傷の原因となります。	 電源コード・プラグを破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 ・コードやプラグの修理は、販売元へご依頼ください。		

 **無線機の取付・バッテリーの交換は、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。お客様ご自身で作業を行った場合、事故や故障の原因となることがあります。**

注意

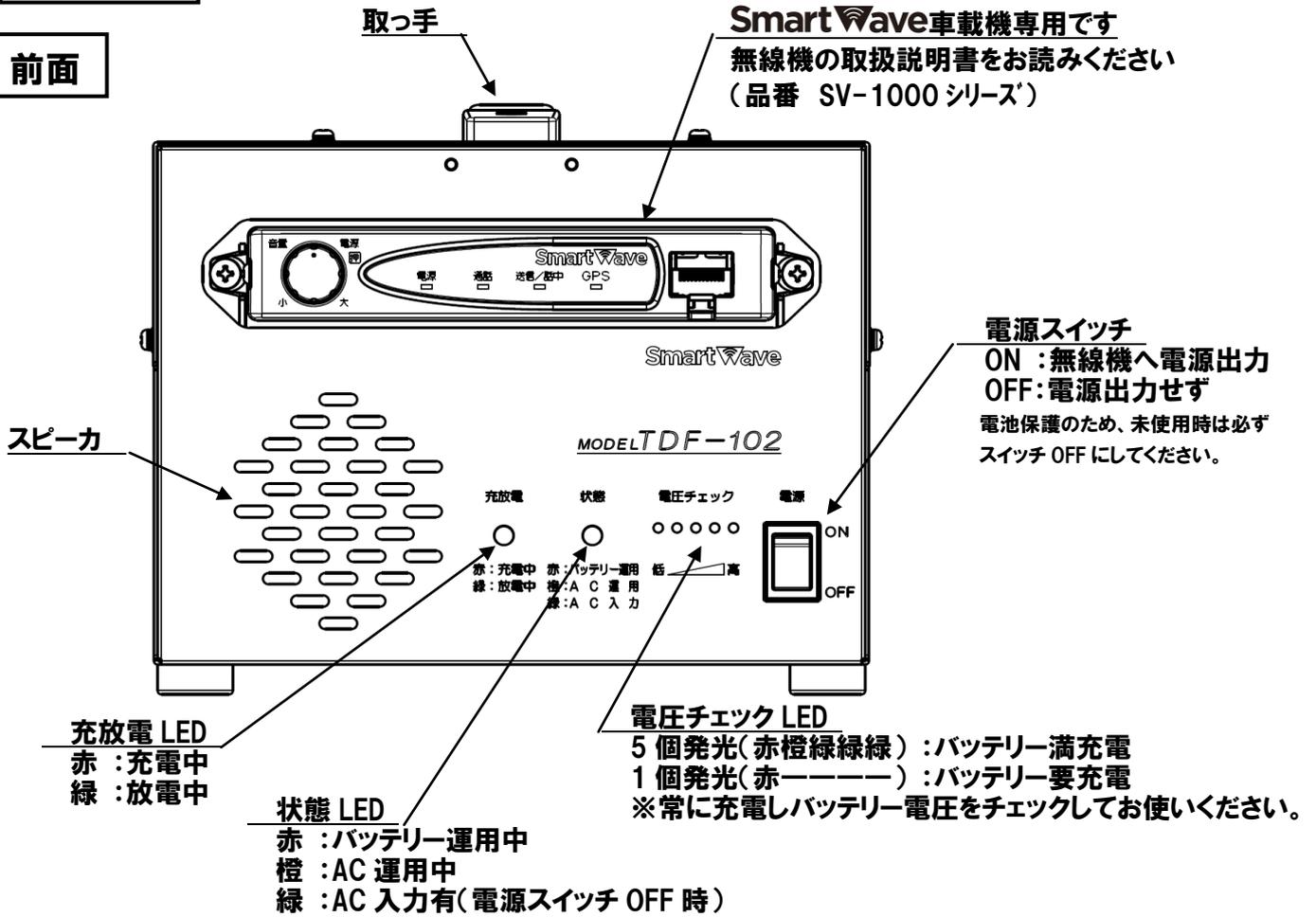
 禁止 幼児の手の届くところに置かない けがなどの事故の原因となることがあります。	 重量注意 本製品は重量物である鉛蓄電池を内蔵しておりますので、取扱いには十分にご注意ください。	 常に充電し蓄電池の電圧をチェックしてお使いください。	 無線機金具の取付は本装置同梱のビスをお使いください。
---	---	---	---

保守メンテナンスや故障の場合は販売店に連絡ください。(右の欄に記入されると便利です)

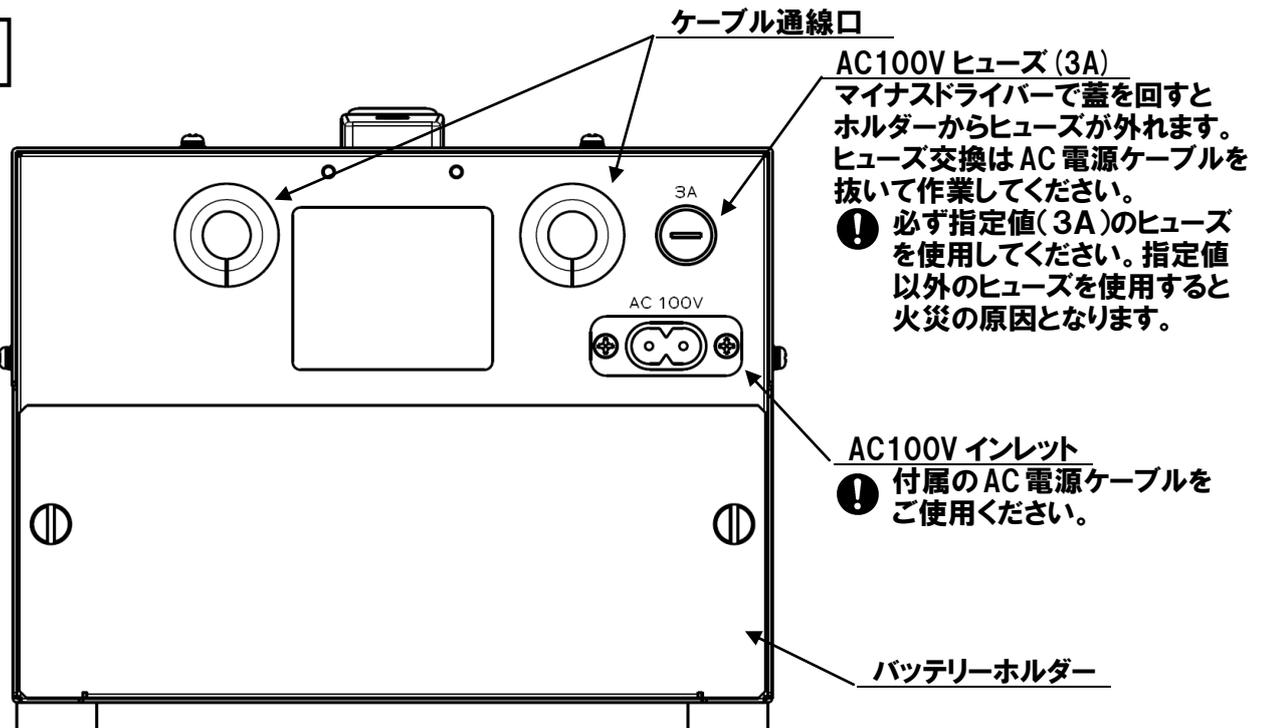
販売店名	TEL () -
-------------	-----------

外觀説明

前面



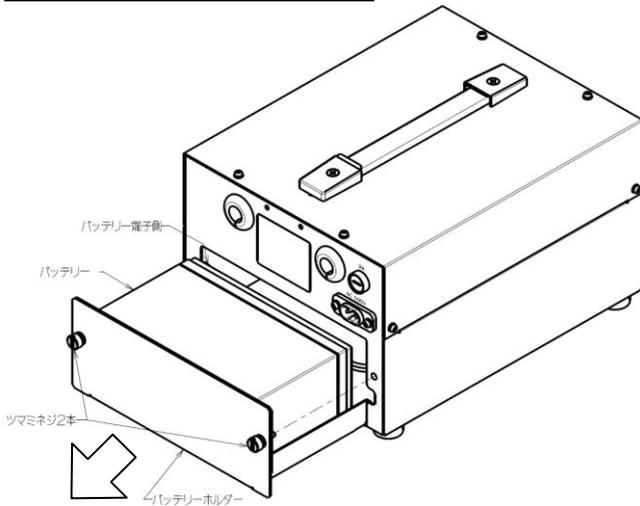
背面



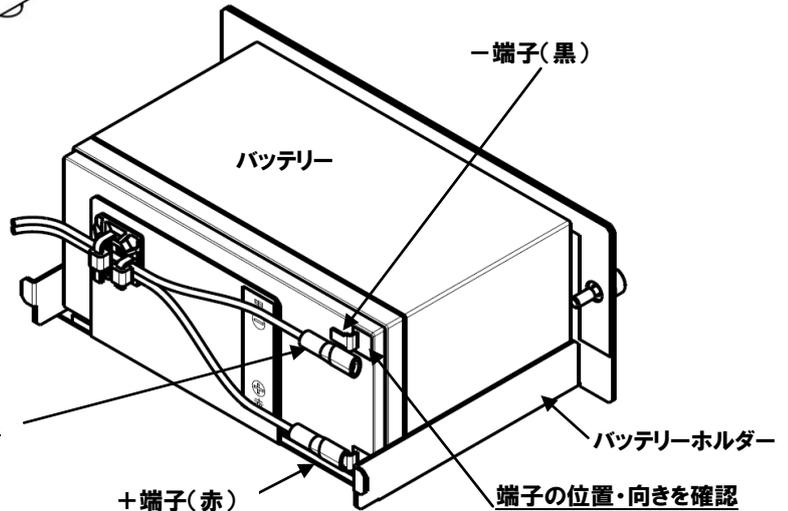
※安定した水平な場所に設置してご使用ください。

TC0J00440MA

バッテリー交換方法



ツマミネジを緩め、両手でツマミネジを引っ張りながらバッテリーホルダーを引き出します



ケーブルを接続するときは真っ直ぐ根元までしっかりと差し込んでください

+端子(赤)

端子の位置・向きを確認

⚠ 警告

バッテリーの交換はお買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。
交換作業には専門の知識と技術が必要です。お客様自身にて取付作業を行った場合、感電・発火・火災等の原因になることがあります。

⚠ 注意

バッテリーは重量物ですので取扱いには十分注意してください。落下などによりケガや物的損害の原因になります。

❶ 必ず電源コードを抜き、電源スイッチをOFFにして、ゴム手袋・ゴム靴などの安全対策を施し、安定した水平な場所で作業を行なってください。安全対策なしの作業は感電の原因となります。

① 背面のツマミネジ 2 本をマイナスドライバーで緩め、ツマミネジを引っ張りながらバッテリーホルダーを引き出してください。

❷ 強く引き出すとケーブルを傷めますのでゆっくり引き出してください。

② バッテリーの+端子(赤)と一端子(黒)からケーブルを真っ直ぐ引いて外してください。

⚠ バッテリーの+端子(赤)と一端子(黒)は絶対にショートさせないでください。

③ 端子の位置と向きが上図の通りになるようにバッテリーを置き換えてください。

④ バッテリーの+端子(赤)と一端子(黒)にケーブルを接続してください。

❸ +端子(赤)と一端子(黒)を間違えないよう、真っ直ぐ根元までしっかりと差し込んでください。

⑤ バッテリーホルダーを本体に収納してください。

⚠ ケーブルを挟み込まないようにご注意ください。無理に本体に押し込むとケーブルが断線する可能性があり、感電あるいは発火・火災の原因となります。

⑥ 背面のツマミネジ 2 本をマイナスドライバーで締め付けてください。

❹ バッテリーを外したままの使用は出来ません。バッテリー無しで使用すると故障の原因になります。

❺ バッテリーは 2 年以内に交換してください。指定品:PE12V7.2 または NP7-12(GS ユアサ製) 交換時期を過ぎて使用した場合、漏液、火災、爆発などの原因となります。

❻ 使用済みバッテリーは、廃棄物として法の規程に則した適切な処理が必要です。処理については販売店にご相談ください。

⚠ 充電せず長期間装置を使用しない場合はバッテリーを外し保存ください。(過放電劣化の防止)

⚠ 充電しても電圧チェック LED 発光数が充電前と変化しない場合は電池寿命です。使い続けると危険ですのでバッテリーを交換してください。

無線機取付および本体組立方法

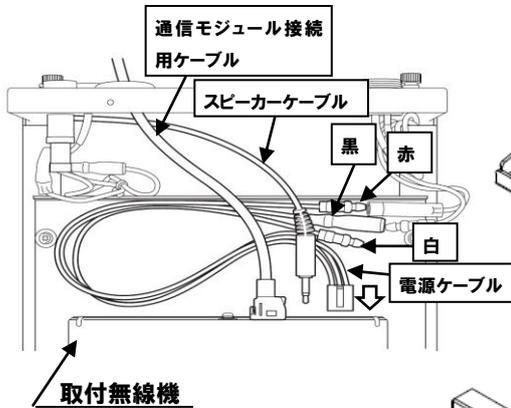
警告

無線機の取付はお買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

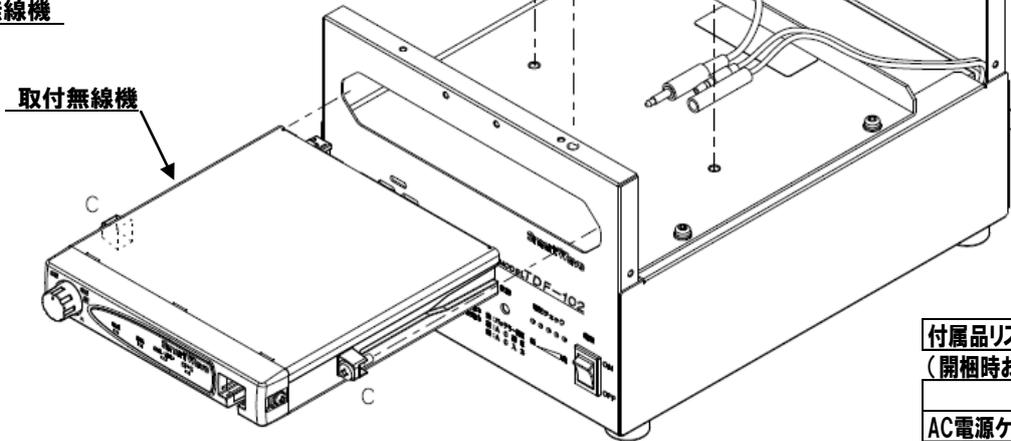
取付作業には専門の知識と技術が必要です。お客様自身にて取付作業を行った場合、感電・発火・火災等の原因になることがあります。

注意

バッテリーは重量物ですので取扱いには十分注意してください。落下などによりケガや物的損害の原因になります。



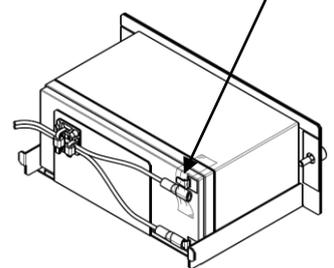
取付無線機



取付金具

取付金具 [SV-K01] (無線機オプション品) が別途必要です。取付には本体付属のビス (M5-10mm) を使用してください。

バッテリー端子 (-)



付属品リスト

(開梱時お確かめください)

品名	数量	備考
AC電源ケーブル	1	
無線機金具取付ビス	3	M5-10
取扱説明書	1	本書

❶ 必ず電源コードを抜き、電源スイッチを OFF にして、ゴム手袋・ゴム靴などの安全対策を施し、安定した水平な場所で作業を行なってください。安全対策なしの作業は感電の原因となります。

- ① 本体カバーの M3 ビス (図中 A) 8 本を外して本体カバーを取り外してください。
- ② 無線機オプション品の取付金具 [SV-K01] を、本体付属品の M5-10mm ビス (図中 B) 3 本で固定金具に取り付けてください。
- ③ 無線機を取付金具に前面からはめ込み左右ビス (図中 C) で固定してください。
- ④ バッテリーケーブル (黒色) の端子を留めているテープを外し、バッテリーの端子 (-) へ真っ直ぐ根元まで差し込んでください。(バッテリーケーブルの接続については バッテリー交換方法 を参照してください。)
- ⑤ 無線機電源ケーブルのギボシ端子を赤線 (+)・黒線 (-) に間違えないように確実に嵌合してください。

❷ ギボシ端子の絶縁スリーブは金属部分が露出しないよう確実にかぶせてください。

- ⑥ 通信モジュール接続用ケーブルなどはコードブッシュを通して、背面穴から外部へ通してください。
- ⑦ 無線機の外部スピーカージャックと本体スピーカーケーブルのプラグを確実に嵌合してください。
- ⑧ 本体カバーをケーブルなどの挟み込みがないように注意して M3 ビス (図中 A) 8 本で取り付けてください。

TC0J00440MA